

昭和十八年一月二十五日
昭和十八年二月一日
（每月一回一日發行）
印 刷 納 本
多三系垂信牛部日

禁轉載

道路の改良

第二十五卷
第二號

社團
法人
道 路 改 良 會

鋪裝報國

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

東京・丸ノ内

鋪

飛行場舗装 道路舗装

加熱式 アスファルト
アスファルト乳劑
セメントコンクリート

アスファルト乳劑製造



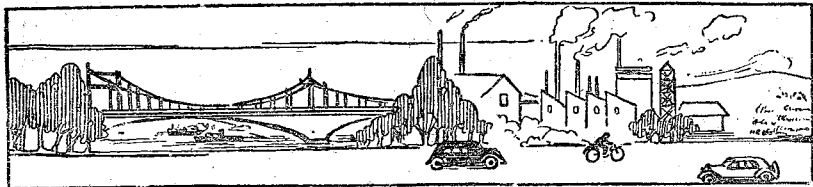
東京瀝材工業株式會社

本 社 東京市日本橋區吳服橋一丁目三番地
(三和ビル)

電話(日本橋) 二六六六番
五五一一番

東京工場 東京市江戸川區長島町五七〇五番地
電話(葛西) 〇〇四〇番

鶴見工場 横濱市鶴見區市場町七七四番地



道路の改良 二十五卷第二號 目次 昭和十八年二月一日發行

卷頭言

論說

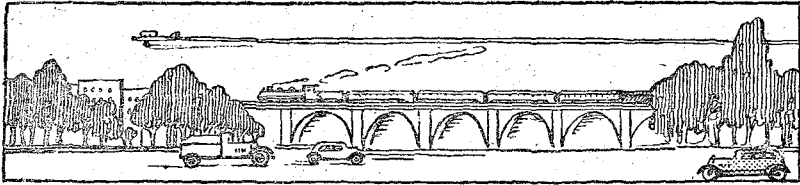
統制會への職權委讓特に軌道關係事項に就て 内務省國土局
道路課長 岩澤忠恭(三)
ナチスの水路及道路交通に就て 經濟學博士 檜崎敏雄(二)

研究

獨逸道路交通法人及車輛ノ道路交通許可令(五)……………多田基(三)
バルカン諸國の歴史産業交通の概況(二)……………H T 生(四)

說苑

道路改良會首腦部と道路問題の推移(二) || 山田英太郎氏終り ||
清水生(五)
土木出張所長事務打合せ會開かる……………一記者(三)



時局日誌(六十四)..... Y H 生(壹)

内務省特報

◎内務省告示(道路新設又は改築の件)◎各府縣内政部長會議◎各府縣内政部長に對する東條内閣總理大臣の訓話..... (金)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例..... Y Y 生(八)

勅令 第二十五號昭和十七年法律第十五號國家總動員法第十八條ノ規定ニ依ル法人等ヲシテ行政官廳ノ職權ヲ行ハシムルコトニ關スル法律施行期日ノ件

勅令 行政官廳職權委讓令

内務、鐵道省令 第一號行政官廳職權委讓令第十四條第一項第六號及第七號ノ施行ニ關スル件

鐵道省令 第一號鐵道省所管ノ職權ニ關スル行政官廳職權委讓令施行規則左ノ通定ム

内務、鐵道省告示 第一號行政官廳職權委讓令第十四條第一項第六號及第七號ノ施行ニ關スル件第三條第三號ノ工事左ノ通指定ス

通牒 鐵道省監財發第二十二號各軌道代表者宛

雜報

◎道路功績者の表彰◎幹事井關正雄氏◎産業、文化に輝く功績者大原孫三郎氏◎近刊圖書雜誌..... (四)

編輯室の外..... (六)

改訂増補出來！

道路職員必携

本書は道路改良計畫並に其の設計の指針として、本會が特に道路技術並に行政の權威者三十餘名の方に執筆を依頼し完成したるものにして、内容は豊富に且つ記述も實に精緻を極めたもので、印刷裝幀も鮮麗優雅にて携帯に便なるハンドブックである。

殊に道路構造令・街路構造令及細則につきても詳細に記載せる點に於ては、他に未だ嘗てその比を見ざるものにして斯界人士の必須書である。

目次 第一編總論、第二編道路の設計、第三編土工、第四編道路の排水設備、第五編鋪裝の構造及施工、第六編工作物、第七編都市計畫街路、第八編交通整理及街路照明の施設、第九編道路材料、第十編維持及修繕、第十一編道路用器具機械、第十二編示方書、第十三編法規、(附録 測量に關する諸表其他)

増補頁一八五頁

發行 社団法人 道路改良會
發賣所 好文館書店

東京市小石川區諏訪町五十六番地
振替 東京 九〇二番
電話 小石川 (85) 三六九番

A6判 一、三五六頁
レザークロース裝函入
定價 金五圓
送料 内地 金二十錢
臺灣、朝鮮、滿洲、支那 金廿八錢

特
典
附
新
會
員
募
集

日
本
土
木
工
學
博
士
長
會
牧
彦
七
先
生
監
修

實 用 土 木 講 座

入會の絶好機
 △初級一ヶ月三ヶ
 月修了。會費毎月
 一圓。送料
 二圓。送料
 △上級一ヶ月一ヶ
 月修了。會費毎月
 二圓。送料
 二圓。送料
 二圓。送料
 二圓。送料

内務技監
 鈴木雅次
 前内務技監
 谷口三郎
 前内務省大阪
 土木出張所長
 佐藤利恭
 推薦

初級・上級共に完成!!
 内容の一部
 應用力學
 鐵筋コンクリ
 土木材料
 河川工學
 測量工學
 砂防工學
 水力發電
 都市計畫
 以上初級の一部

セメント系舗裝
 壓鑄
 基礎工學
 航空土木
 航業土木
 高速鐵道
 土木地質工學
 土木工事監督
 以上上級の一部

工博收彦七、工博青木楠男、
 正務技師金森誠之、農博赤木、
 内務技師水谷謙、農博赤木、
 技師下武、農林技師會品幸、
 吉・工博岩崎富久、他十數氏

内容見本
 申込
 次
 急
 送

送急第次込申本見容内

東京市麹町區飯田町二ノ十一

日本土木工學會

振替東京二〇八三四番

新
會
員
募
集

鐵
道
工
學
博
士
長
會
田
嘉
明
先
生
監
修

鐵 道 工 學 講 座

會費一ヶ月二圓
 五十錢全卷三〇圓
 送料二五錢

全十二卷內容概略

1 鐵道地質 鐵道技師 廣田孝一
 2 線路選定 鐵道技師 大木利彦
 3 線路土工 廣鐵部長 西岡宏治
 4 鐵道橋 教日大 成瀨勝武
 5 鐵道墜道 鐵道技師 佐藤周一郎
 6 軌道構造保線 鐵道技師 川口祐康
 7 信號保安設備 所大鐵 藤原孝一
 8 停車場 鐵道技師 岡田信次
 9 都市鐵道 鐵道技師 山崎匡輔
 10 鐵道車輛 鐵道技師 多賀祐重
 11 初級電氣工學 鐵道技師 池田陽男
 12 工事關係法規 鐵道技師 中島安一郎

內容見本
 次
 急
 送

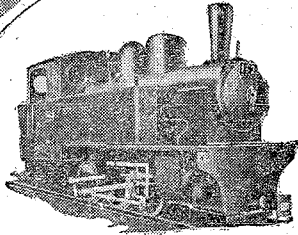
申込
 次
 急
 送

東京市麹町區飯田町二ノ十一

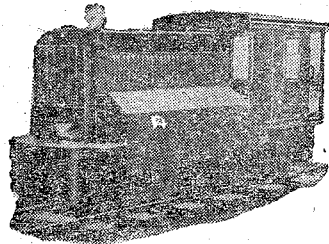
鐵道工學會

振替東京五二二二七番

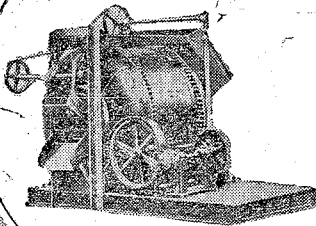
田中の土木諸機械



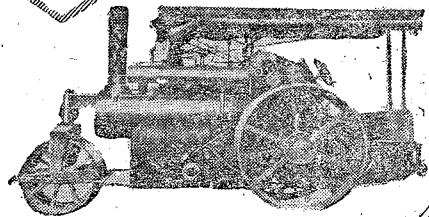
蒸汽機關車



ガソリン重油機關車



コンクリート混合機



スチーム道踏軋墨機

車輛統制會

田中土鑛機株式會社

本社 東京市京橋區京橋三丁目七番地 (京橋際)
 電話 京橋 (56) 5509・8340 番

工場 東京市足立區千住曙町三八 電話 足立 3924 番
 東京市板橋區志村前野町一八五五 電話 板橋 0193 番

大阪支社 大阪市東區南本町四ノ一八 電話 船場 2850 番

昭和十八年

道路の改良

二月一日

第五十二卷
第二號

言 頭 卷

東條内閣總理大臣は日本官吏を訓戒して曰く第一官吏は陛下の官吏である、大御心を奉體して私心を去り奉公の誠を擧げ第二官吏は國家の要請に即應する爲其の頭の轉換を遂げ創意と工夫を凝らし眞剣且つ熱烈なる執務を行ひ第三官吏は全責任を以て上司を輔佐し己れを空しうして上司の命を實行し自己の本分に没入せよと官吏を教へて餘す處あるなし。世界的大轉換をもたらさんとする這次の大戦争に直面して親切な態度を以て國民に接し、自肅自戒身を慎み、苟くも倨傲驕姿の行爲あるべからざるものである。又戦争に勝つ爲には不可能事も可能事とららしむるを要す、官吏は衆庶に率先して頭を切り換へ戦時にふさはしくし生温い轉換でなく徹底的に轉換せねばならぬ、深刻に自己の仕事に全力全心を傾注すべきものである。尙且複雑多岐な戦争時下に在つては最も適切に最も機敏に事を處理せねばならぬは勿論である。

東條内閣總理大臣は斯く其の部下たる官吏を訓戒し教ゆる所があつたが吾曹は此は單に官吏といはず大政翼賛會の首脳部も各種統制會の幹部も會社の重役も苟くも民衆の指導的立場に在る者は等しく此心構を以て其の責務に努力せねばならぬと思惟する。特に行政官廳の職權を委譲せられたる十二統制會の首脳者は悉く官吏に準じて此の心得を疎かにしてはならぬ。

戦局の進展と共に行政形態は從來の綜合的運用から重點的運用に移行し次第に獨裁的傾向へと近づきつゝある、換言すれば或程度の獨裁性は不可缺の要請である。然り然れども徒らに他を模倣し夫れに違はざらんことを勉むるが如きは回避せねばならぬ、例へば彼の獨逸が聯邦制打開の爲に採りたるヒットラ總統の政策の如きは獨逸の特異性に基くもので他の國に於ては容易に之を襲踏するを許さざるものである。

大東亞戦争に於ける必勝を直接の目的とし其の根柢の目標たる大東亞の新秩序、世界の新秩序建設に際して我國に於ては其の指導者たるものは其の責務に顧み、其の特質に鑑み苟くも奸佞邪智或は權謀術數を以て人心を收攬するの疑を受ることなく、一誠以て信ずべきを信じ、信ずべからざるを斥け、正々堂々棘の道をも進む信義の人でなければならぬ、虚偽と不信と私欲と驕姿とは絶對的禁物である。

斯く看し來り吾曹は更らに大切な精神的指導の位地に在る神道の神官神職、佛教の僧侶、基督教の教師牧師乃至大學、高等學校、中學校及國民學校の教職に在る者が往々にして敬虔の道を教へて敬虔を守らず、忠誠を説いて忠誠を行はず、公議を述べて公議に違はざるを視る之寔に深憂に堪えない、須らく是等の地位に在る者は先づ以て實踐躬行は他に委して省みる處なきを避け身を以て實踐躬行することこそ其の使命なりと痛感する次第である。(洗民)